

## 「まちづくり地区会議・地域自主組織」、「まちづくり委員」とは

### ★取り組みの背景は？

- 日本全体が人口減少時代に入し、大山町では既に人口減少や高齢化が先行しています。
- 今後、さらなる少子高齢化の進展で、集落の活力が低下していくことが懸念されます。
- ★対策として何を？
- 行政主導ではなく、地域住民の参加によるまちづくり活動を通じ、地域の活性化を図ります。
- その取り組みが「まちづくり地区会議・地域自主組織」です。



### ★具体的な内容は？

- 大山町内を旧小学校区(10地区)ごとに区域分けします。
- 「まちづくり地区会議」は、各集落から選出された「まちづくり委員」によって構成されます。
- 役割: 地区内の集落が力を合わせて地区全体の活性化を図るためのまちづくりを進めることです。
- 任務: ①まちづくり活動を「話し合い」から「実行」に移すことです。②まちづくり活動を継続的に実行できる仕組みの構築(組織化→地域自主組織)をすることです。
- 地域自主組織は、まちづくり地区会議からの発展的な取り組み(地区内集落の合意・規約・計画・事務局設置)
- まちづくり委員は、各地域自主組織の委員へ移行します。
- 役割と任務: 各組織のまちづくり計画に沿って活動します。

### ★7つの地域自主組織と3つのまちづくり地区会議が活動中

( )内は設立日

大山地区	名和地区	中山地区
ふれあいの郷かあら山(H24.12.2)	かくわの郷庄内(H26.11.16)	やらいや逢坂(H26.3.9)
まちづくり大山(H27.4.18)	支え合いのまち御来屋(H26.11.16)	きばらいや上中山(H26.9.21)
まちづくり所子地区会議	まちづくり名和地区会議	楽しもなかやま(H28.4.17)
	まちづくり光徳地区会議	

## まちづくり地区会議・地域自主組織の役割・機能



### 具体的な取り組み

単独集落で解決できない課題を抽出

### ★できることから実施

- ・防災、交流の場づくり
- ・企画、連携、調整
- ・特産品販売など...

### ★期待される効果

- ・集落負担の軽減
- ・地域での暮らしの維持
- ・楽しく、誇れる場所に！

地域活動の受け皿へ成長